

# 海陽だより

荒尾海陽中学校  
第8号(R6.9.13)  
「挑戦！ 一步前進」

文責：校長

## ～登下校中の事故を防ぐためには～

4月から登下校時や部活動の移動時の自転車事故が多くなりました。幸い大けがには至っていませんが、車への接触もありました。そのたびに担任や交通指導担当からの指導や呼びかけを行ってきました。

しかしながら8月下旬、下校指導をしていた職員から「自転車の並列走行で危ない。」「途中でヘルメットをとって乗っている。」という情報が入りました。夏休み明けとあって気の緩みがあるのか、暑かったからなのか。今後、交通事故を起こさないか危機感を持っています。何のためにヘルメットをかぶるのでしょうか。学校のルールだからでしょうか。今一度、各家庭でも話題にさせていただき、お子様の命を守っていきましょう。



### ① 交通事故死傷者数が前年度より増加

昨年度の全国交通事故発生状況によると、交通事故死者数は8年ぶりに前年度より上回っています。自転車による事故死も前年度より増加しています。事故別には、車との出会い頭による衝突が群を抜いて多く、次に追突や左右折時となっています。その中で、半数が頭部損傷で、9割以上がヘルメットを非着用であったと報告されています。自転車事故で死亡した人の7割が頭部への致命傷を負ったことが原因で亡くなっています。着用しているときと比較して3倍近くに跳ね上がっていることから、自転車乗車時には必ずヘルメットを着用することが大切です。

### ② 自転車用ヘルメットの着用率を高めるためには

昨年度4月の道路交通法の改正により、全年齢に対して自転車乗車時にヘルメットを着用することが努力義務化されました。しかし、現状では違反しても罰則がないため、着用率のアップにそれほどつながっていないのが実情のようです。その中でも中学生の着用率は4割とまだ低いままで着用する意識改革が求められています。登下校ではかぶっているが、一度帰ってから遊びに行くときは、かぶらないという人も多いのではないのでしょうか。

### ③ 自転車保険の加入は必須 ～膨大な損害賠償をされるケースも～

自転車は交通事故の加害者になることも想定して、万一のために自転車保険には必ず加入してください。自転車の事故であっても賠償額の計算方法は自動車やバイクによる事故と変わらないそうです。例えば、小学生が自転車で走行中に女性と正面衝突し、頭蓋骨骨折等の傷害を負わせた事故や高校生が夜間に無灯火で運転中に警官と衝突した死亡事故では9千万円を超える傷害賠償の判決が出ています。こうした事例を受けて、全国の自治体では、自転車保険を義務化する動きが広まっています。

### ④ 交通事故を自ら回避する力

予測できない事故が絶えない中で、子どもたちには交通ルールを遵守するだけでなく、周囲の状況を常に把握し、変化に気づく力や適切な行動を選択して交通社会と向き合う力を身につけることが重要です。交通事故を自ら回避する3つの力は①状況認識力②判断力③自転車運転技術力です。交通ルール（並列走行禁止、ヘルメット着用、安全たすき着用等）を守り、時間に余裕を持ってスピードダウン、一旦停止、左右確認等を行って乗車すれば、これまでも回避できた自転車事故も多いのではないのでしょうか。

## 部活動の地域移行について

現在、部活動は、運動系と文化系の学校部活動として活動しております。原則、月曜日から金曜日のうちの4日間、土曜日か日曜日どちらか1日間活動できるようになっています。この部活動が来年度から地域活動に移行していきます。

そこで荒尾市では、昨年度から部活動の地域移行に関しての「部活動あり方委員会」が行われています。昨年度末に1年生には体験入学時に地域移行についてのお知らせ「公立中学校の部活動における休日の地域移行について」が配付されていると思います。また、体験入学の時に説明があっていますが、移行まで1年を切りましたので、その概要をお知らせします。特に1年生が関係ありますので確認をお願いします。

まず、来年度の中体連大会が終わった7月から「土日の学校部活動」はなくなります。

平日の月曜日から金曜日のうちの4日間はこれまで同様の学校部活動ですが、土曜日、日曜日は学校部活動でないため、教職員の担当は基本的につきません。したがって、土曜日、日曜日の活動や中体連大会、中体連共催大会以外の大会は出場できないこととなります。しかし、外部指導者がいれば、活動することができますし、大会にも出場することができます。

競技者が少ない競技等は、荒尾市の一つの中学校を拠点として活動する「拠点校部活動」として、活動することもできます。その場合、教職員は平日のみ（外部指導者が指導してもよい）、土曜日、日曜日は外部指導者で活動することになります。これは、荒尾市教育委員会が認めた競技になります。しかし、現在認定された競技はまだありません。

あくまでも、来年度7月から完全に学校部活動がなくなるのではなく、土曜日、日曜日に限ってということになりますので1年生の保護者の皆様、ご理解よろしくをお願いします。

外部指導者として土曜日か日曜日に指導ができる方を各部活動の保護者の方で探していただけると幸いです。



## 『あいさつ運動』

9月も中旬にさしかかり、前期もあと1か月を切りました。学習も生活も折り返しのまとめの時期になり、いよいよ17日から期末テストが行われます。勉強は計画通りに進んでいるでしょうか。範囲も広いですが、頑張りましょう。

学校生活も前期のまとめとして、生徒会が『あいさつ運動』を行いました。これは、生徒総会で「荒玉一のあいさつをめざそう」をスローガンの取組の一つです。夏休み明けであいさつができなくなっています。再び活気のある学校に戻すために、生徒会代議員を中心に計画し、1年生から3年生までの代議員が7時30分から正門に立って、大きな声で登校してくる生徒にあいさつを行っていました。

あいさつ運動をしていた生徒に感想を聞くと、「あいさつをして返してくれるとうれしい。」「逆にあいさつを返してくれないと残念。」「と言っていました。こんな経験をした人たちは、きっと逆の立場になって、相手を残念な気持ちにさせないように、大きな声であいさつを返すことなのでしょう。みんなが気持ちよく学校生活を送れるためには、お互いが明るいあいさつを交わせるといいですね。

私も生徒に負けないよう挨拶をしていきたいと思えます。

さて、自分は今、ブロンズ？シルバー？ゴールド？ダイヤ？それとも最高峰のチャンピオン？

ワンランク上をめざして「挑戦」してみましよう！

